

## はくさい・キャベツの初夏どり作型

(園試 野菜花き部)

### 1. 背景とねらい

本県の葉・莖菜類の栽培は、県北高冷地帯の夏秋どり作型が中心となっている。今後これらの品目の長期継続出荷と水田転換畑を利用拡大していく上で、県中南部地帯に夏秋どりの前後をねらいとした新作型の開発が急務となっている。

そのため、ここでは、はくさい・キャベツの省力的な初夏どり作型を確立するため育苗法と栽培法について検討した結果、成果が得られたので参考に供する。

### 2. 技術内容

1) 初夏(6月)どり作型の作期と品種は下表のとおりである。

品目	は種期	定植期	収穫期	品種	栽培法
はくさい	3月上旬	4月上旬	6月上旬	はるさかり	ポリマルチ+べたがけ
キャベツ	3月上旬	4月上旬	6月中旬	Y R 青春	ポリマルチ+べたがけ

#### 2) 育苗時における保温方法

- (1) 生育適温を確保するため、トンネルを併用したハウス育苗とする。
- (2) はくさいは発芽勢・苗質の向上を図るため、発芽までトンネル内に通気性被覆資材のべたがけをする。なお、べたがけは全体の3割程度が発芽したところを目安に除去する。

#### 3) 本畑におけるべたがけ効果

- (1) はくさい・キャベツとも定植後に通気性被覆資材のべたがけをする。このことにより、収穫期が早まり品質も安定する。
- (2) 特にはくさいは、べたがけをすることによって芯長が短くなり、花芽形成も抑制され、品質が安定する。なお、べたがけは結球始期を目安に除去する。

4) 適応地域 はくさい：県中南部 キャベツ：県下全域(高冷地を除く)

### 3. 指導上の留意点

#### 1) 品種

- (1) はくさい 「はるさかり」程度の極晩抽性の品種を使用する。
- (2) キャベツ 収量・品質の安定した「Y R 青春」を使用する。

#### 2) 育苗法

- (1) 本試験は育苗のシステム化が容易であるセル成型育苗で実施した。
  - ① セル成型育苗は、若苗定植が前提となる。はくさい・キャベツのそれぞれの定植苗齢を3~4葉、2~3葉とした場合、セル数が150~200程度のトレーを使用することで良苗の確保・定植後の生育が良好であった。
  - ② 培土の種類によっても異なるが、一般的に従来の育苗に比較して培土の乾湿の

差が大きい。かん水は培土の表面が濁き、苗がややしおれかけた時点で少量かん水し徒長を防止する。

(2) トンネル資材は、天井開閉換気型フィルムを用いると換気作業が容易である。

### 3) 栽培法

(1) 本畑でマルチを使用する。マルチ栽培することで、両品目とも初期生育が良好で、収穫期が早まり品質が安定する。

## 4. 試験成績概要

表-1 育苗法の違いと収量および規格別割合 ～はくさい～

育苗期の保温法	調整重 (kg)	a収量 (kg)	左比	規格別割合(%)				収穫期	芯長	ふち腐れ症
				2L	L	M	外			
a.二重被覆区	1.86	664.0	(100)	0	90.0	10.0	0	6/17	7.3	0%
b.二重+べたがけ区	2.15	767.6	116	0	100.0	0	0	6/11	8.1	0%
c.三重+べたがけ区	2.23	796.1	120	0	94.1	5.9	0	6/11	7.9	0%

表-2 育苗法の違いと収量および規格別割合 ～キャベツ～

育苗期の保温法	調整重 (kg)	球径(cm)		規格別割合(%)						収穫期
		長径	短径	2L<	2L	L	LA	M	M>	
a.二重被覆区	1.28	18.5	17.8	8.9	42.9	26.8	12.5	5.4	3.6	6/17
b.二重+べたがけ区	1.19	18.0	17.6	14.7	23.5	20.6	17.6	8.8	14.7	6/15
c.三重+べたがけ区	0.89	16.9	16.2	4.1	6.1	10.2	14.3	57.1	8.2	6/13

表-3 マルチ効果

区名	はくさい		キャベツ	
	株幅(cm)	葉数(枚)	株幅(cm)	葉数(枚)
マルチ	46.5	18.8	37.2	9.8
無マルチ	37.8	16.8	31.8	9.2

表-4 通気性被覆資材によるべたがけ効果

本畑の保温法	はくさい					キャベツ			
	調整重 (kg)	a収量 (kg)	左比	芯長	生育 日数	調整重 (kg)	球径(cm) 長径 短径	生育 日数	
a.無被覆区	1.94	692.6	(100)	10.6	65	1.09	16.8 16.4	65	
b.べたがけ区	1.95	696.2	101	6.9	56	1.05	17.8 16.8	62	
c.トンネル区	1.74	621.2	90	3.9	56	1.10	18.0 17.6	62	
d.トンネル+べたがけ区	1.92	685.4	99	4.5	56	0.91	16.8 16.2	64	